

金百十三万三千円のほか児童福祉、災害救助費などが計上されています。

○衛生費(総額四百七十八万三千円)
私たち町民の健康保持をはかるための伝染病予防に要する費用や乳幼児、妊産婦の健康診断を行う経費百十五万一千円のほか環境衛生の向上のための防疫対策等の計上費百八十六万三千円がおもなので家族計画推進のための事業費もこの中にふくまれています

○農林水産
事業費(総額七百三万五千円)
農業関係では農業構造改善促進のための経費をはじめ、農業労働力確保の対策や農業共同作業の一環としての農業防除、薬剤の共同購入の補助経営と合理化推進、土地改良事業についての補助費などが計上されました。

○商工費(総額千六十万九千円)
商工業の拡充強化をはかるための商工会の補助六十万円、ほかは工場誘致条例による優遇措置費八百四十八万円が計上されさらに協同組合東武給食センターの出資金百万円がおもなものです。

○土木費(総額二千七十三万九千円)
工場立地と車輛交通の激増のためとしても道路の修理や橋りょう

の新設が重点的な事業としておこなわれます。

県道改良負担金はほかその他の負担金として五百五十六万二千元、道路維持のための砂利約三千四百一十一立方メートルの購入費四百万円、橋りょうの補修や拡張工事費二百二十万円用悪水路工事費百七万円がおもなものとして計上されています。

ほかに議会に諮問された都市計画についての経費設計委託料その他六十五万円があらたに予算化されました。

○消防費(総額五百万円)
小型動力ポンプ三台の購入費のほか各分団の器具の整備や置場の修繕、支給品の購入、防火貯水池の新設費等が計上されています

○教育費(総額四千四百六十万三千円)
蔵出の中で教育費はもっとも大きな予算を占めています。

39年度に竣工完成した中学校々舎と体育館の建設事業に引きつづいて実施される第三小学校々舎建築のための二千二百六万円を計上したほか、第二小学校プール建設費七百四十八万円がもりこまれています。

このほかにも小中学校施設や備品の整備に要する経費や、社会教育、保健体育費等も比較的大きな

予算をしめています。

○国保特別会計
私たちの健康をまもる国民健康保険の四十年年度予算は歳入歳出とも事業勘定が二千三百五十万円と定められました。

○水道事業特別会計
四十年年度水道事業会計の予算は歳入歳出二千六百五十五万二千円で事業がすすめられることになりました。

新設県道の開通

草加一松戸線の新設道路として中馬場から若柳木曾根新田地内をぬけ潮止橋西詰までの直線道路はその完成が待たれていましたが、このほど念願がかなって開通しました。

町の南部の方達もこれで中央に出ることが容易になり、きれいに

整備された道路はこれから主要幹線道路として町の発展には勿論、日本の産業の進展に大きな役割を果たすことでしょう。

道路の整備に

小型タンク車を購入

町の会社や工場に往来する車と理立て工事のためのダンプカーが土煙りをあげ突っ走り、さらに最近の自動車ブームがこれに拍車をかけ、町のあらゆる道路のこれ方は極端にはげしくなっています

町道の整備補修のため土木建築課にこのほど小型ダンプ車がお目見えしました。

車種はニッサン ジュニア、一九〇〇、四十年型四輪車二トン積みです。

これは三十九年度の予算で購入したのですが新しい年度の事業に大いに機動力を発揮し、町民のなやみのたねの一つ、悪路の悪名を返上するに役立つこととおもいます。



納税通知書の様式がかわります

町税その他、今までの納税通知書が一期分から四期分までの連記式に変わりました。一期分をおさめたのちも納税連絡袋を利用し大切に保管してください。

町税等の納期一覧表

納期	納税種別	納期	納税種別
四月	固定資産税	七月	町定資産税
五月	軽自動車税	八月	町定資産税
六月	町定資産税	九月	町定資産税
七月	町定資産税	十月	町定資産税
八月	町定資産税	十一月	町定資産税
九月	町定資産税	十二月	町定資産税
十月	町定資産税	二月	町定資産税
十一月	町定資産税		
十二月	町定資産税		
二月	町定資産税		

期別 一全一 二二 一三二 全四三二 四三二 五三二 六四四